

平成25年（第7回）みどりの学術賞受賞者

みや ち しげ とお

宮 地 重 遠（82歳）NPO法人地域振興支援センター クリーンア
ース環境研究所所長、東京大学名誉教授

（功績概要）

植物生理学の分野において、クロレラなどの微細藻類を使って光合成過程で炭水化物を合成する「CO₂固定」の研究を進め、CO₂濃縮は炭酸脱水酵素が行っていること、微細藻類などはCO₂濃度を感知する機構があり、この働きによりCO₂濃縮を調節していることを明らかにした。また、これらの成果を基に「海洋バイオテクノロジー」という新しい学術分野を創設し、海洋におけるCO₂固定能力の研究や海洋微生物の蒐集など、斯学の発展に貢献した。

わし たに

鷲 谷 いづみ（63歳）東京大学大学院農学生命科学研究科教授

（功績概要）

生態学の分野において、絶滅危惧種のサクラソウを使って、生理生態学、昆虫による授粉様式の解析、個体群生態学的手法などを用い科学的知見に基づく野生植物の保全手法を開発した。また、侵略的外来種の生態影響、里山や水辺の生物多様性の保全と再生などに関する広範な研究など総合的に展開し、保全生態学として体系化した。これらの成果をもとに、市民との協働による研究及び普及活動を行い、生態系・生物多様性の保全に貢献した。

（年齢は平成25年4月26日現在）